

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年7月9日

【四半期会計期間】 第23期第3四半期(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

【会社名】 日本BS放送株式会社

【英訳名】 Nippon BS Broadcasting Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼COO 小野寺 徹

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地

【電話番号】 03-3518-1800(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員兼CFO 平山 直樹

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地

【電話番号】 03-3518-1900

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員兼CFO 平山 直樹

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第3四半期 連結累計期間	第23期 第3四半期 連結累計期間	第22期
会計期間	自 2019年9月1日 至 2020年5月31日	自 2020年9月1日 至 2021年5月31日	自 2019年9月1日 至 2020年8月31日
売上高 (千円)	8,523,078	8,780,234	11,394,190
経常利益 (千円)	1,677,601	2,056,382	2,195,327
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,149,769	1,406,288	1,490,491
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,149,769	1,406,288	1,490,491
純資産額 (千円)	18,459,557	19,856,149	18,800,278
総資産額 (千円)	20,627,827	21,897,943	21,419,983
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	64.58	78.99	83.72
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	64.55	78.94	83.68
自己資本比率 (%)	89.4	90.6	87.7

回次	第22期 第3四半期 連結会計期間	第23期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2020年3月1日 至 2020年5月31日	自 2021年3月1日 至 2021年5月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	25.79	27.82

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下「新型コロナウイルス」といいます。）の影響が長期化し、再び都市部を中心とした緊急事態宣言が発令されるなど、厳しい状況が続いております。個人消費に一部持ち直しの動きがみられるものの、未だ感染収束の見通しは立っておらず、依然として先行きは不透明であります。今後は感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げられていくことが推測されますが、当面、厳しい状況が続くと見込まれます。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の77.1%（「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ）で推移しております。衛星放送メディア関連の広告費は、1,173億円（前年比92.6%）となり、そのうち70%強は当社を含むBSデジタル放送事業が占めております。（「2020年 日本の広告費」(株)電通調べ）

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え 幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として、オリジナル色の強化、良質コンテンツの拡充に努め、自社制作の特別番組やアジアドラマ、ヨーロッパミステリー、アニメ等の番組が評価を受け企業広告収入が予想比で堅調に推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間では、視聴者層の更なる増加を目的として良質な自主制作番組と外部リソースの最適なミックスによる編成を実施いたしました。

【レギュラー番組】

報道番組では、国内外の政治・経済・スポーツ・健康・医療・文化などをテーマに、毎回さまざまなゲストを迎えお送りしている『報道ライブ インサイドOUT』に加え、最新ニュースをいち早くお伝えする『速報ニュース インサイドOUT』を2021年2月に放送開始いたしました。中小企業やベンチャー企業に焦点を当てた『NEXT company』では、「SDGs」「M&A」「DX」など次世代の企業に必要な情報を発信し、経済番組の発展にも努めております。

2021年4月の番組改編では、各界の著名人をゲストにゴルフテクニック満載の本格派ゴルフ番組『諸見里しのぶ実践 ゴルフテク!』をスタートいたしました。『BSイレブン競馬中継』、『マイナビ Be a booster! B.LEAGUE ウィークリーハイライト』、『BS11ソフトボール中継 日本女子ソフトボールリーグ2021』と共にスポーツコンテンツの充実を図りました。

『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』では、コロナ禍に負けず暖簾を守る名店を紹介。ローカル局やCS局への番組販売も実施しております。また、豪華ゲストを迎え、生バンドで昭和の名曲をお届けする『八代亜紀いい歌いい話』、無料BS放送唯一のバイク専門番組『大人のバイク時間 MOTORISE』等、内容をより一層充実させて放送しております。

また、更なる視聴者獲得のため、世界最大級のドキュメンタリーチャンネルである「ディスカバリーチャンネル」が誇る豊富で良質な作品群の中から、特に評価と人気の高い作品を厳選し『ディスカバリー傑作選』として放送しております。ドラマジャンルの拡充にも努めており、ヨーロッパミステリー『FLIGHT HS13』、中国ドラマ『オリジナル・シン - 原生之罪 - 』、韓国ドラマ『A-TEEN』は日本初放送をいたしました。

【特別番組】

日本の魅力を再発見する祝日の日シリーズとして、『昭和の日スペシャル 驚き！昭和の庶民遺産』『みどりの日スペシャル 未来を変えるSDGsの扉』を放送。歴史をテーマとした特別番組では、『春風亭昇太のこだわり歴史噺』『偉人・素顔の履歴書』を放送いたしました。また、東日本大震災から10年の節目にあたり、報道番組『報道ライブ インサイドOUT 特別取材 震災から10年 福島いま、そして未来』、被災地応援番組『おいしい缶詰ツアーリズム～食べて飲んで東北にエールを！』を放送。演芸番組『柳家喬太郎の笑って免疫力UP! 寄席』では、大人気講談師・神田伯山さんをはじめとした豪華出演者が登場し、好評を得ております。

今年で6度目の放送となる(株)京都放送との共同制作番組「京都夜桜生中継」は、『京都夜桜生中継2021～日本映画発祥の地に咲く桜物語～』と題し、ゲストに俳優の里見浩太郎さんを迎え放送。『京都画報 初夏・京料理を支える匠の技』は、東京メトロポリタンテレビジョン(株)、(株)京都放送と3社で共同制作をいたしました。また、全国各地のローカル局10社と協力し制作したミニ番組『桜前線2021 全国キャスターリレー！～神社仏閣に咲く桜～』等、ローカル局とのコラボレーション施策も積極的に実施いたしました。

3年目を迎えた『BS11CUP全日本eスポーツ学生選手権大会』については、パワフルプロ野球部門を新設し、ウイングイレブンと共に2部門にてインターネットによるオンライン予選を実施。決勝大会は、生放送及び「BS11オンデマンド」サイトにて配信をいたしました。

上記の他、見逃し配信サイト「BS11オンデマンド」では、『報道ライブ インサイドOUT』、『大人のバイク時間 MOTORISE』をはじめとしたレギュラー番組に加え、『偉人・素顔の履歴書』、『柳家喬太郎の笑って免疫力UP! 寄席』等の特別番組も放送後に配信を行い、視聴者ニーズの充足に努めております。

【アニメ関連事業】

「ANIME+ (プラス)」枠では、制作委員会へ出資した作品の『転生したらスライムだった件 転スラ日記』、『ひげを剃る。そして女子高生を拾う。』、『SSSS.DYNAZENON』、『スライム倒して300年、知らないうちにレベルMAXになってました』、『やくならマグカップも』、『セブナイツ レボリューション -英雄の継承者-』等を含め、毎クール約40タイトルのアニメ番組を放送。当社オリジナルのエンタメ総合情報番組『アニゲイイレブン！』は、今年10月に放送開始7年目を迎え、森口博子さんが司会を務めるアニメソング番組『Anison Days』と共に、アニメファンからの高い人気を得ております。また、7回目の出展となるアニメイベント「AnimeJapan 2021」は、コロナ禍によりオンライン開催となる中、初の試みとしてBS11公式YouTubeチャンネルにて、新作アニメの人気声優陣によるトークショー等を生配信いたしました。更に当社オリジナルのアイドル番組『虹のコンキスタドールが本気出しました！？～Next Stage～』は、各動画配信サービスにて見逃し配信を行っており、視聴者との接触チャネルの拡大に努めております。

また、今の時代を生きる子供たちに素敵な絵本との出会いを贈る『今日のえほん』は、グループ会社である(株)理論社、(株)国土社の児童書を映像化し、俳優の室井滋さんによる読み聞かせ番組として放送しております。「アニメプラス」枠、「キッズアニメ (むげんだい)」枠のアニメ番組と共に、子供から大人まで幅広い視聴者に好評を得ております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 8,780,234千円（前年同期比 3.0%増加）となりました。営業利益は 1,985,495千円（前年同期比 18.7%増加）、経常利益は 2,056,382千円（前年同期比 22.6%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,406,288千円（前年同期比 22.3%増加）となりました。

財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ477,959千円増加し、21,897,943千円（前連結会計年度末比2.2%増加）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が114,203千円減少したものの、現金及び預金が681,174千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ577,910千円減少し、2,041,794千円（前連結会計年度末比22.1%減少）となりました。主な要因は、未払法人税等が131,074千円減少した他、流動負債のその他に含めて表示している未払金が197,365千円、未払消費税が98,398千円、未払費用が90,745千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,055,870千円増加し、19,856,149千円（前連結会計年度末比5.6%増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が、前連結会計年度の期末配当356,077千円により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,406,288千円の計上に伴い11,050,210千円増加したこと等によるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(4) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度末に計画中であった主要な設備の新設のうち、完了したものは次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	設備の内容	完了年月
提出会社	本社（東京都千代田区）	新HDマスター・統合バンク設備更新	2020年9月

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	56,000,000
計	56,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2021年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2021年7月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,804,032	17,804,032	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	17,804,032	17,804,032		

(注) 提出日現在発行数には、2021年7月1日から本四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2021年5月31日		17,804,032		4,183,936		3,517,726

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2021年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,796,100	177,961	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 7,832		
発行済株式総数	17,804,032		
総株主の議決権		177,961	

(注) 1. 「単元未満株式」の「株式数」の欄には、当社所有の自己株式37株が含まれております。

2. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日(2021年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2021年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日本BS放送株式会社	東京都千代田区神田駿河台 二丁目5番地	100		100	0.00
計		100		100	0.00

(注) 上記のほかに単元未満株式として自己株式37株を所有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2021年3月1日から2021年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年9月1日から2021年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,399,320	12,080,494
受取手形及び売掛金	1,943,310	1,829,106
たな卸資産	359,937	397,477
その他	49,047	49,676
流動資産合計	13,751,615	14,356,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,475,116	2,395,887
土地	4,034,756	4,034,756
建設仮勘定	522,720	
その他(純額)	167,569	688,697
有形固定資産合計	7,200,162	7,119,342
無形固定資産	68,330	89,986
投資その他の資産	399,876	331,859
固定資産合計	7,668,368	7,541,187
資産合計	21,419,983	21,897,943
負債の部		
流動負債		
買掛金	557,801	513,258
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,900	
未払法人税等	501,853	370,778
返品調整引当金	52,746	38,338
その他	905,660	514,657
流動負債合計	2,519,961	1,937,032
固定負債		
退職給付に係る負債	80,765	86,466
その他	18,977	18,295
固定負債合計	99,742	104,761
負債合計	2,619,704	2,041,794

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,183,936	4,183,936
資本剰余金	3,517,726	3,517,726
利益剰余金	11,089,605	12,139,816
自己株式	143	143
株主資本合計	18,791,125	19,841,336
新株予約権	9,153	14,812
純資産合計	18,800,278	19,856,149
負債純資産合計	21,419,983	21,897,943

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
売上高	8,523,078	8,780,234
売上原価	4,178,989	4,127,064
売上総利益	4,344,088	4,653,169
販売費及び一般管理費	2,671,277	2,667,673
営業利益	1,672,811	1,985,495
営業外収益		
受取利息	51	124
保険解約返戻金	4,712	69,152
その他	3,632	4,603
営業外収益合計	8,396	73,880
営業外費用		
支払利息	3,029	2,931
その他	576	62
営業外費用合計	3,605	2,993
経常利益	1,677,601	2,056,382
税金等調整前四半期純利益	1,677,601	2,056,382
法人税、住民税及び事業税	526,195	661,936
法人税等調整額	1,636	11,842
法人税等合計	527,831	650,093
四半期純利益	1,149,769	1,406,288
非支配株主に帰属する四半期純利益		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,149,769	1,406,288

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
四半期純利益	1,149,769	1,406,288
四半期包括利益	1,149,769	1,406,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,149,769	1,406,288
非支配株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上でのコロナウイルス感染症に関する一定の仮定について)

新型コロナウイルス感染症の拡大については、現在でも尚、継続している状況であります。当社グループでは2021年8月期を通して当該影響が継続し、その後2022年8月期上期にかけて経済状況は徐々に回復していくものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、今後の経過によっては実績値に基づく結果が、これらの仮定及び見積りとは異なる可能性があります。なお、この仮定については、前連結会計年度から重要な変更はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
減価償却費	176,520千円	343,739千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月13日 定時株主総会	普通株式	356,077	20.00	2019年8月31日	2019年11月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年11月11日 定時株主総会	普通株式	356,077	20.00	2020年8月31日	2020年11月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループには、BSデジタル放送事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	64円58銭	78円99銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,149,769	1,406,288
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	1,149,769	1,406,288
普通株式の期中平均株式数(株)	17,803,895	17,803,895
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	64円55銭	78円94銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	7,593	11,357
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年7月9日

日本BS放送株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 末 村 あ お ぎ 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 関 信 治 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本BS放送株式会社の2020年9月1日から2021年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2021年3月1日から2021年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年9月1日から2021年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本BS放送株式会社及び連結子会社の2021年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業的前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。